

K S K Q かがやき

編集人
社会福祉法人
かがやき神戸を支援する会

<https://kagayaki-kobe.jp>

- 目次
- P1「理事長の挨拶」
 - P2「夢ホームへの道part 5 / Ricoまつりのお知らせ」
 - P3「優生保護法裁判報告 / 法人・支援する会の動き」
 - P4.5「かがやき神戸に出会って」
 - P6「国会請願署名行動報告」
 - P7「支援する会たより」
 - P8「会費を納入頂いた方・お願い・編集後記」

攻めの姿勢で

社会福祉法人かがやき神戸 理事長 **松原 建二**



暑い日が続いていることと思いますが、皆様におかれましては体調など崩されていませんか。日頃は、かがやき神戸の活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、5月20日に開催されました、梅原司平チャリティーコンサートにご協力いただき、ありがとうございました。当日は約200名の方にご来場いただき、無事終わることができました。法人としても、久しぶりのイベントであったことや準備期間が短かったこともあり、不安もありましたが、皆様の協力のおかげで無事終了することができました。当日はコロナでお会いできていなかった方にもたくさんご来場いただき、いろんな方に支えていただいていることを改めて実感することができました。本当にありがとうございました。またお礼が遅くなりましたことお詫び申し上げます。

さて、今かがやき神戸が目指している、重度障害者対応グループホームの建設予定地が決まりました。コロナ禍の中、3年にわたり土地探しに奔走していましたが、あきらめずに進めてきたことが、実を結びうれしく思います。これからは、建設資金1億円を集めるといった大きな目標に向かって邁進してい

きます。最近新たに取り組んでいることは、セラピーshop、ホームページ上で寄付できる仕組みづくり、公式twitter・Instagramでの発信です。インターネットを使い様々な仕掛けを作っていますが、知ってもらわなければ何も生まれません。ぜひ一人でも多くのお知り合いにかがやき神戸の活動をお伝えいただければと思います。

先日、きょうされんの会議で「セラピーshop」について宣伝した時、とても好評でした。土地確保でもそうでしたが、動けば結果がついてくるということを感じて、私も待ちの姿勢ではなく、いろんなところに顔を出してかがやき神戸のことを伝えていこうと思います。

かがやき神戸が設立されて24年になります。これまで受け継いできた力を結集してグループホーム建設を成功させたいと思います。今後とも、よろしく願いいたします。



梅原司平さんのイラスト
作：なでしこの里利用者
内田結衣さん

夢ホームプロジェクト Part 5

～梅原司平さんチャリティコンサート報告～

梅原司平さん、素敵なコンサートありがとうございました。

法人で何か大きな事業を展開するときには、決まって『梅原司平チャリティコンサート!』を計画しています。これまで6回コンサートを開催してきました。そして、今回は、重度重複障害者対応型グループホーム建設という新たな挑戦を後押ししていただきたく、コンサートを開催しました。会場となった須磨パティオホールには、当初の予定を上回る200名以上の方々にご来場いただきました。今回のコンサートは2部構成となっており、第一部では、第2回YUME HOME PROJECTを開催しました。そして、ご来場いただいた皆様とともに仲間の想いや家族の想いを共有しました。

第二部はチャリティコンサートです。透き通った歌声と軽快なトークに会場全体が梅原司平さんの世界に引き込まれました。コンサートも終盤に入り、拍手喝采の後には、会場からアンコールの声が…。かがやき神戸の曲『この手で!この手に!』をご来場いただいた皆様と合唱しました。そして拍手喝采の中、幕を下ろしました。

この度、ご来場いただきました皆様、本当にありがとうございました。重度重複障害者対応型グループホーム建設には、まだまだ超えなければならない壁がたくさんあります。関係者一同協力し、ひとつひとつ乗り越えていく覚悟です。皆様の、引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

コンサート会場のようす



第9回Ricoまつり in浄泉寺公園

今年は新たに場所を移し、飲食を再開します♪
リサイクルバザー、ゲームの出店もあります。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております♪

開催日時：2023年10月28日(土)

10:00～14:00

場所：浄泉寺公園

(西区王塚台6丁目)

お問い合わせ：喫茶Rico

TEL:078-926-1170

優生保護法裁判報告

優生保護法（1948～1996）により強制的に不妊手術を受けさせられた方々が、全国各地で裁判をおこし、差別や偏見のない社会の実現をめざして共にたたかっています。

兵庫の訴訟団では今年3月23日に大阪高裁にて画期的な逆転勝訴判決が下されました。これまで大きな争点となっていた「除斥期間（20年以上経過したため賠償請求はできない）」についても大きく見解を変える、歴史的な判決内容でした。右の写真の「逆転勝訴」等の堂々とした力強い文字は、かがやき神戸の利用者の皆さんに書いていただいたものです。全国的にも今年に入ってから勝利判決が続き、この被害の重大性から「除斥期間」は適用すべきではないと、司法の場での判断が明らかになったものと確信しました。

しかし、国はこの判決を不服とし、最高裁に上告を申し立てました。さらに、6月1日の仙台高裁では、10代で強制不妊手術を受けさせられた原告が20年の間に裁判に訴えられたはずだとして訴えを退ける判決を下したので

す。6月16日の札幌高裁でも、優生保護法によって手術を受けた客観的証拠はないと、一審判決を支持し控訴が棄却されました。

兵庫では今、聴覚障がいのあるお二人の方が追加提訴されています。お二人は出産時の帝王切開術の際に、何の説明もないまま不妊手術を余儀なくされました。お二人もそうですが、優生手術を受けさせられた方の多くは、優生保護法による被害である（手術を受けた）ことを知りませんでした。このことがまさに、障がいのある方への差別的な対応、優生思想そのものだと言えます。優生保護法による様々な人権侵害が長く明るみに出されなかったのはなぜなのか。引き続きこの問題を社会にアピールし、社会全体で解決にむかっていく必要があります。



法人・支援する会のうごき 2023年4月～6月

4月3日 辞令式

人事異動の職員に辞令式が行われました。

4月15日 ノーリフト研修

抱え込まない、持ち上げない、体の負担を少なくするケアの研修を行いました。理事長からノーリフト宣言がありました。

4月29日 青空マルシェ

雨天予報でしたが、曇り空で開催する事ができました。クラウンや4重奏などあり、多くの人に来場していただきました。

5月9日 臨時理事会

なでしこの里のエレベーター工事の入札について話し合われました。

5月20日 梅原司平さん チャリティコンサート

法人主催で梅原司平さんに名谷でコンサートをしていただきました。多くの人にご来場いただきました。



あじさいまつりのようす

5月26日 理事会

- 第1号議案 総括について
- 第2号議案 決算について
- 第3号議案 監事監査報告について
- 第4号議案 新理事の提案
- 第5号議案 理事長・常務理事の業務報告
- 第6号議案 評議員会の議題について

6月10日 評議員会

- 第1号議案 総括について
- 第2号議案 決算について
- 第3号議案 監事監査報告について
- 第4号議案 新理事の提案
- 第5号議案 理事長・常務理事の業務報告

5月26日 理事会

- 第1号議案 理事長の決定について
- 第2号議案 常務理事の指名について
- 第3号議案 エレベーター工事の業者決定について

6月17日 あじさいまつり

つくしんぼ敷地内にてあじさいまつりが行われました。多くの人に来ていただきました。

かがやき神戸に出会って ～ 職員の思い～

人との出会いが自分の財産

常務理事 森友寮事業責任者 **高島 登** たかしま のぼる



小高い丘の上にある法人「かがやき神戸」に入職して23年が経ちます。途中、丘の上に行くことがしんどくなって、坂を登るのを止めようかと思った時期もありましたが、気が付けば私の人生の半分を「かがやき神戸」と共に歩んでいます。

入職から今までを振り返ってみると本当にいろんなことがあったなあ～と、たくさんの思い出がよみがえってきました。入職後、半年で森友寮の立ち上げを任されたこと、精神的ストレスから円形脱毛症になりスキンヘッドになったこと、チャリティーコンサート、きょうされん全国大会…などなど、思い出したら冷や汗が出てきました(°Д°)；

いやはや冗談はさておき、今までのしんどかったこと、辛かった体験も施設作りなど責任ある仕事を任されたことも、すべての体験が今の私の考える力、捉える視点、相手を思う気持ちなどの経験値となって仕事に活かされています。

そして、かがやき神戸に勤めた23年の間で出会った「人との繋がり」は私の財産になっています。森友寮やミニなでしこを立ち上げるため物件探しをしている時に知り合った地元の不動産、施設作りをする度に応援して下さった梅原司平さんファンクラブの方々、その方たちとの付き合いも気が付けば16年以上の付き合いです。今年の5月20日に梅原司平コンサートを開催しましたが「かがやき神戸」は法人がピンチの時、発展していく時にどれほどの多くの方に支えられ応援していただいているのか改めて実感しました。常務理事となった今、1人でも多くの方と繋がりを広げて紡いでいくことが自分の役目だと思っています。

話は変わりますが、私の家族に医療ケアが必要な小学校6年生の長男がいます。1種1級、A判定で座位が取れません。生まれてすぐに痙攣があり入院、生後3か月で點頭てんかん、west症候群と診断されました。そこから5歳まで入院を繰り返していました。現在もてんかん発作は消えずレノックス症候群と診断名が変わりました。

発症当初は「まさか自分の子供が」とショックは消えないまま、入院の付き添いと家に残った子供たちとの2重生活が続きました。病院では親が付き添うのは当たり前、その前提で何事も話をされます。病院は治療という点でしか見ません、本人にも家族にも生活があると考えていません。その中で精神的にも体力的にも一番大変な時期を乗り越えることが出来たのも、法人の理解やサポートがあったからです。生活

が落ち着いた今も休暇や働き方に配慮してもらっています。子育てと仕事を両立できる職場を作ってもらい恵まれた環境の中、働き続けることが出来ました。法人や職員みんなの理解やサポートが多々あったこと、本当に感謝しています。

障害をもって生まれると教育の場や余暇の場でも健常児と同じ普通の当たり前をしようと思っても「出来ない」と断られることが多いです。それは環境や設備の問題、人材不足という物理的な理由だけでなく、気持ちや考え方のソフト面で断られることも多々ありました。初めから「出来ない」で終わると何も始まりません。スタートラインにすら立てません。どこに問題があって、どうすればできるようになるのかと切々と訴え、奮闘していると徐々に共感してくれる人、理解してくれる人、応援者がたくさん増えました。

今では地域の普通校に通うことが出来、看護師が付いてくれることになったので医療行為のための親同伴もありません。「どんな事が出来るかな」「どうすればできるようになるかな」と子供の視点に立って考えてくれる人に囲まれています。結果が出なかったとしてもように思い、取り組んでくれるだけで、将来の可能性を感じることが出来ます。一歩踏み出せる機会があるということは、親である私たちにとって大変ありがたいことです。

最後に、子供を通してたくさんの方々とお会いしました。恐らく、障がいをもって生まれなければ、その出会いや付き合いはなかったと思います。息子の人徳のおかげで恵まれた環境の中で生活を送ることが出来ています。私は長男が生まれてから、生産性や結果だけに着目し重視するのではなく、そこまでの過程、日々の積み重ね、人と人との触れ合いが福祉の実践だと強く感じるようになりました。

そして、私たち「かがやき神戸」が取り組んでいる「運動」というのも、人と人が出会い、お互いの考えや想いを共有していく、伝えていくことが原点だと感じました。

「運動」が署名活動や決起集会のことだけを指すのではなく、日々の生活の中にごくごく自然にあって見えていないもののだとしたら、私たち福祉従事者は身近にあって生活の中に埋もれている「運動」に気付き、感じ取ることが出来る感受性や本質を見抜く洞察力を高め、表面化させていくことが役割なのだと考えています。その力を発揮できるためにも「人」とのつながりを大切に、安心した環境を創り広げていきたいと思っています。

かがやき神戸に出会って ～職員の違い～

仲間や職場の人たちに支えられて

ぐりいと事業責任者 水島 良岳 (みずしま よしたか)



私がかがやき神戸に勤め始めて16年目になります。振り返りますと、仕事を決める際に考えたことがあります。

それは

- ・人と触れ合える仕事
- ・誰かからやりたくないことを押し付けられず、自分がやりたいことを自分のキャラクターを武器にして仕事ができる場所
- ・自分がしたことへの反応がすぐに自分に返ってくる仕事などの条件でした。

そのような仕事はないかなと思って考えたのが福祉の仕事でした。私は人見知りで子供のころから人とコミュニケーションをとることが苦手でした。人前で話をすることも極端に緊張していました。

でも、本当は人と話したい、つながりたい、という強い思いがありました。福祉の仕事なら、人と話すことが仕事だし、やってみたいことが仕事でできる、と思って目指すことにしました。面接の日の帰り道、「だんだん」の仲間にバス停で、「職員になるの?」ととてもフランクに声をかけてもらいました。緊張がすーっと解けていったことを今でも覚えています。

最初に配属されたのが、今の「ゆめゆめ班」でした。仲間の前でいろいろ話すことも大事な仕事だったので鍛えられ、もう人前で話すときもそんなに緊張しなくなりました。

今でも仲間から「みずしー、さようなら、また月曜日」とわざわざ声をかけてくれることがとてもうれしく、ありがたいことだなと思っています。つくしんぼでもぐりいとでも、仲間や職員が楽しそうに過ごしているのを見るととても幸せな気持ちになります。

法人には管理職という立場を任せていただき、仲間やご家族 職員の気持ちをうけとめながら仕事をさせていただくという、昔の私では想像できないような重責を任せていただいていることに感謝しています。いろんな人がぶつかりあうこともあります。それはみんなが一生懸命自分の思いを大事にして仕事をしているからだと思っています。

しんどくなった時には、自分はどうしてこの仕事を志したのか、自分にもう一度問いかけるようにしています。自分の人生は仲間や職場の人たちに支えられて今があると思っています。ありがとうございます。



国会請願行動報告

※国会請願行動とは、よりよい社会福祉のための要望案に対して、署名を集めて国会議員まで届け、直接訴たり、話を聞いてもらう活動です。

■国会議員訪問行動に行ってきました

私は今回、初めて、国会請願行動に参加しました。これまである程度、障害者運動はしていたものの主体性を持って活動していたか？本質の部分などの理解はできているのか？と問われれば返答に困ってしまいます。今回の国会請願行動を終えて、もっと障害のある方たちの生活を守るべく内容だけでなく運動自体も理解をより深めていかなくてはならないと思いました。

■各議員及び議員秘書にお会いした感想

与党の議員さんとはほぼ会うことができず、数人の秘書の方と軽く話をすることは出来た程度でした。しかし、省庁の担当に所属していることから、国の方針に対して反対することができないとのことで、署名の受け取りや紹介議員にはなって頂けませんでした。陳情については秘書の方が仕方なく聞くという対応でした。中には資料すら受け取ってもらえない方もいました。

唯一会って話すことができた議員さんからは、グループホームの労働環境の大変さについての理解を示していただきました。

尼崎地区の議員の方は同行の参加者と長年の知り合いでしっかり陳情することができ、紹介議員にもなっていただきました。

神戸市選挙区の議員さんは、ご家族の方に対応していただきました。請願内容については、理解を示して下さり、自分達も地元（兵庫駅周辺）で障害者の作業所等に関わっているとのことで、障害者だけでなく職員の大変さにも共感していただきました。しかし、請願内容と議員さんの活動内容に少し相違があり紹介議員にはなれないとの事でした。

ある野党の政党に回った時は、請願の依頼状や署名束を受けとってはいただいたが、ニコニコと「そちらに置いていてください。頑張ってください」のみで話を聞いてくれることはありませんでした。別の野党の方については、こちらの話についてよく聞いてくださりました。しかし、推薦議員になる事については、個人で判断することが難しいとのことでした。

■最後に

地元の議員さんは、与党側であっても話を聞いてくれるということがわかりよかったです。秘書の方で運動に対してのかなりの理解を示していただいた方もいました。

今回の国会請願行動で感じたことは、このままの活動の仕方では、参加した人は「自分達の思いを伝える＝議員や秘書に話を聞いてもらう」だけになってしまい、話を聞いてもらえただけで「自分達の思いを届けた」という自己満足で終わってしまうのではないかという事です。

私たち自身が請願内容を深く理解し、議員さんにしっかりと伝え、推薦議員になるだけでなく積極的に請願項目を法令に落とし込めるような活動をしてもらう事が必要だと思いました。



一緒に活動した
あまーち利用者の巽さんと
職員の真崎さん



**支援する会に会費を
納入いただいた方**

(2023年3月17日～5月31日までに
更新/入会された方 順不同・敬称略)

神田ふさ子 ミント倶楽部 南万里 南里佳
古井孝志 中西立夫 中西加代子 中西剛史
強田宏明 大西月美 小見山純 団佳代
団延幸 岡田清 岡田秀子 岡田みゆき
藤田彩瑛 藤田彩綺 菅政恒 山本博子
岩橋文子 岩橋篤史 桐山正雄 桐山美生子
金谷かほる NPO法人きらり 砂原徹
安田耕平 内海裕子 千葉恒世 千葉眞弓
千葉陽平 佃正信 池山美代子 池山隆元
松井尚武 田井野洋子 田中收
大生産業株式会社

☆会費納入のお願い☆

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会
の2023年度会費(2023年4月～2024年3月)
納入をお願いいたします。

★ かがやき神戸を支援する会
2022年 年度会費 1000円★

会費振込先(郵便振替)口座記号口座番号:
00930-1-67354
加入者名:社会福祉法人かがやき神戸を
支援する会

かがやき神戸

検索



かがやき神戸のホームページも
ご覧ください!!

ご協力ありがとうございます

(すでに更新された方で、お名前の載って
いない方は次回掲載させていただきます)

2023年8月号 (No.99)

編集人: (社福)かがやき神戸を支援する会

定価: 1部50円

事務局: 神戸市北区山田町下谷上字西丸山

20-30 (かがやき神戸北事務所)

TEL: 078-582-5544

FAX: 078-582-5526

発行人: 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4F

【編集後記】

かがやき神戸がSNSを始めたというので、
私もついにインスタグラムをやってみる
ことにしました。最初は見るだけでした
が、やはり自分も何か投稿してみたく
なるものですね。とはいえ平凡なわが人生。
日々の様子をお伝えしても「誰が興味
あんねん!」と言われてしまいそうです。
そこで投稿のテーマを決めることにしま
した。一人審議の結果、「グルメとア
ート」に関する写真を載せることに決定。
まだうまく活用はできていませんが、
どんなことを載せようかなとか、アートの
イベントやおしゃれなカフェなんかを探
してみようとか、ちょっと毎日が楽しく
なってきました。SNSは苦手とってい
らっしゃる皆様、なかなか楽しいですよ。
一度新しい世界をのぞいてみませんか?
(平山)